

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	傾斜地の車両火災で、燃料タンクから流れ出たガソリンが燃えながら迫ってきた事例
3. 体験した事例の中心的要素	1 幅員の狭い傾斜地であったためタンク車の部署位置が炎上中の車両より下側になった。 2 泡消火が準備できるまで噴霧注水をしたため、燃料タンクから流れ出たガソリンが放水した水に浮き、燃えながら傾斜地を流れ始め、タンク車へ迫ってきた。
4. 体験した事例の原因・理由	部署した道路が下り勾配であったが、炎上中の車両から燃料が漏れ、それが燃えながら傾斜地を流れてくることを予測できなかった。

## 【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

## 【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 3年 1月 24日 午前 1時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：幅員の狭い道路上（傾斜地）
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：火災延焼拡大危険
7. 事例体験時の活動	火災、現場活動初期、 [ 車両 ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	放水活動、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

当事者A	年齢[ 34 ]歳、勤続年数[ 14 ]年、現場経験年数[ 14 ]年、階級[ 消防副士長 ]、同様の活動 [ 1年に数度 ]、任務 [ 機関員 ]
当事者B	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ 16年前であり当時の隊長は不明 ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]
当事者C	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ 16年前であり当時の放水員も不明 ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]
その他 (当事者が4人以上の場合)	16年前の出来事であり当時の隊長、放水員は不明、機関員のみ判明している。

11. 事例発生の経過。



	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	車両火災発生	幅員の狭い傾斜地において発生	
経過 2	タンク車分隊出動	現場到着し、炎上中車両の傾斜地下側に部署	当時の隊長、放水員は不明、機関員のみ判明
経過 3	放水員	放水準備、噴霧注水	
経過 4	機関員	放水始めの合図により送水する	
経過 5	炎上中の車両	燃料タンクからガソリンが流れ出る。注水した水に浮き燃えながら傾斜地をタンク車にむけて流れだす。	
経過 6	機関員	慌てて消火剤を準備する。	
経過 7	機関員	タンク車前方に泥を盛り、タンク車への延焼を防止するとともに泡消火剤にて消火する。	
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？  
 ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険事象の対応方法を知っていた。

心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

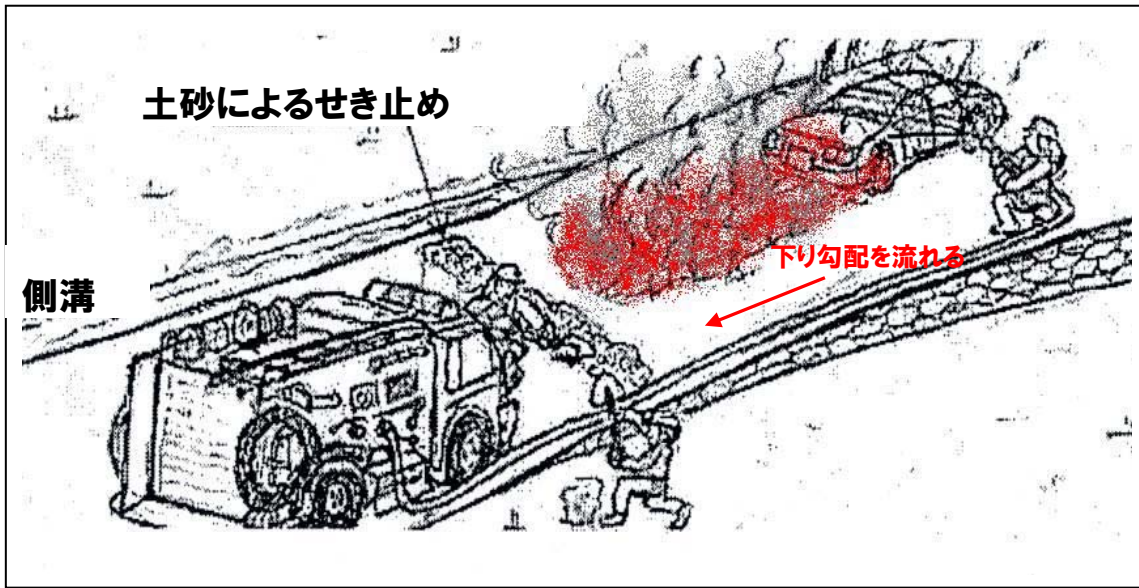
k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	はい

その他

l . その他の理由があった。

--



傾斜地における車両火災

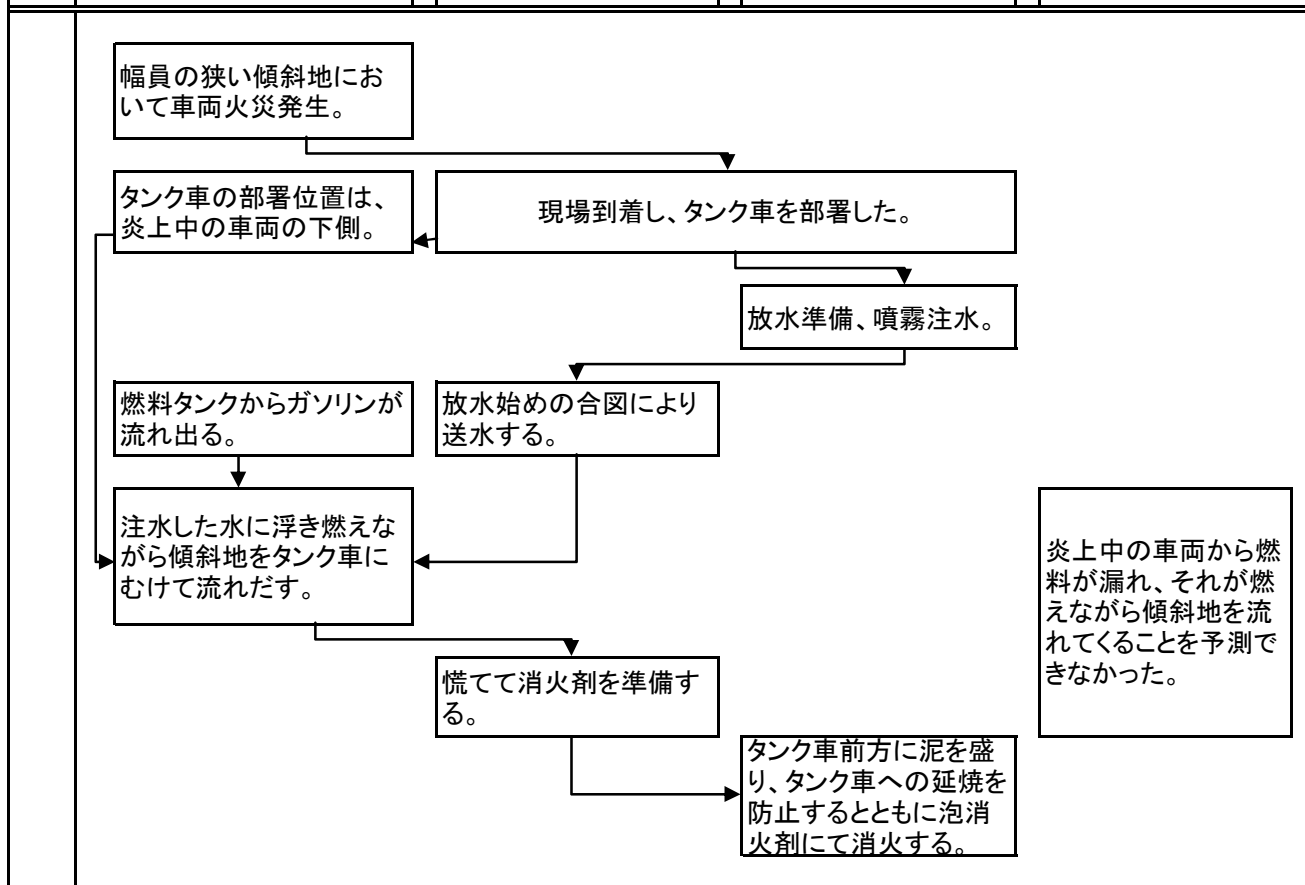
○ヒヤリハット事例：傾斜地の車両火災で、燃料タンクから流れ出たガソリンが燃えながら迫ってきた事例

(07H0452)

(同様の体験は、初めて体験した。)

・発生日時：平成3年1月24日 午前1時頃

経過	現場の状況	隊員A	その他	備考
		機関員／消防副士長 ・年齢 34 歳 ・勤続 14 年 ・現場 14 年 ・同様の活動：1年に数度	放水員 (詳細は不明)	



◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因：状況判断に問題があった。
- ・危険事象の対応方法を知っていた。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- (心理・体調について)
  - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。
  - ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
- (活動環境について)
  - ・狭隘な場所であった。
- (指揮・管理について)
  - ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)
  - ・隊員が不足していた。